

# 資料 1 調査対象公園の状況①（土地利用・建蔽率）

位置	廿日市市新宮 1 丁目 1 1 - 4 外	都市計画区域	広島圏都市計画区域
面積	13,023.88m <sup>2</sup>	区域区分	市街化区域
供用開始	H14.4.1	用途地域	商業地域
都市計画決定	H9.12.1	立地適正化計画	居住誘導区域 都市機能誘導区域
主な公園施設	複合遊具・トイレ・東屋・備蓄倉庫 ベンチ・シェルター・せせらぎ・噴水	宅地造成工事規制区域	区域外

## ● 建蔽率

仮設公園施設 + 2 %

高い開放性を有する建物 + 10 %

特例 + 10 %  
 ・休養施設・運動  
 施設・教養施設  
 ・災害対策に必  
 要な施設

特例 + 10 %  
 ・公募対象公園  
 施設(遊戯施設、  
 便益施設 など)

通常建蔽率 2 %

## ● 新宮中央公園

+ 2 %

条例なし

8 % (1050.24m<sup>2</sup>)

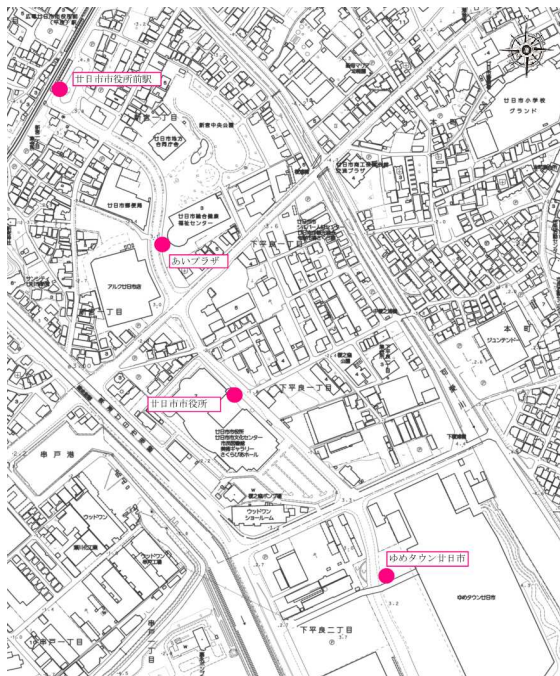
1.9 %  
 (備蓄倉庫・トイレ  
 252.14m<sup>2</sup>)

1.9 % (260.47m<sup>2</sup>)

0.1 % (東屋 8.76m<sup>2</sup>)



# 資料1 調査対象公園の状況②（交通・アクセス）



駅名及びバス停名称		合計 (内 大人)
広電	廿日市市役所前駅	1,118,130人
さくらバス	廿日市市役所前駅	2,565人 (2,530人)
さくらバス	あいプラザ	1,378人 (1,347人)
さくらバス	廿日市市役所	1,404人 (1,395人)
さくらバス	ゆめタウン廿日市	11,042人 (10,929人)

※広電は乗降客数（年間）

※さくらバスは年間の降車人数（パスピー利用者に限る）





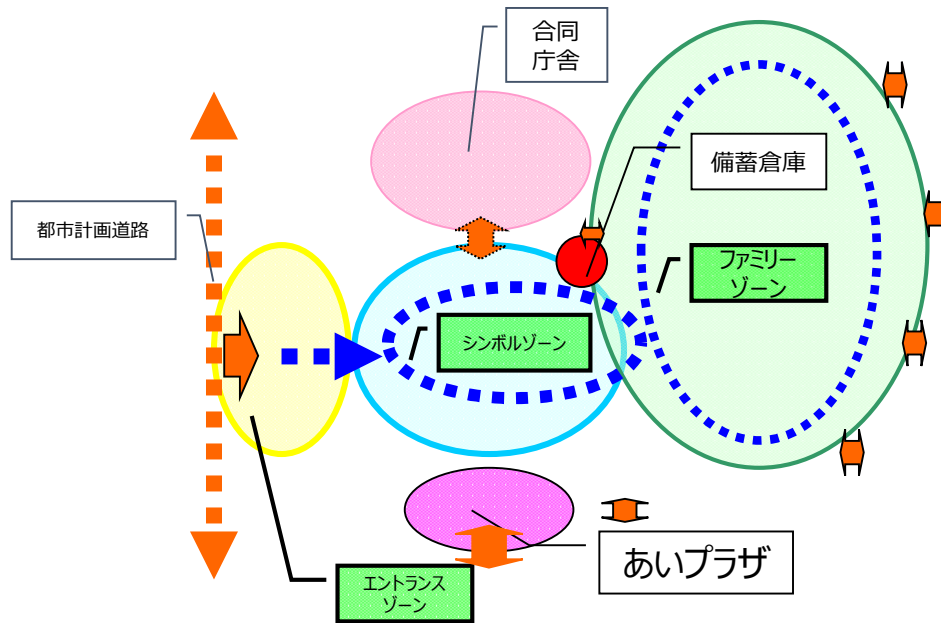
# 資料1 調査対象公園の状況③-2（周辺の駐車場）



	台数など
駐車場①	山崎本社みんなのあいプラザと兼用している。 <b>35台</b> （内、障害者用2台）
駐車場②	山崎本社みんなのあいプラザ駐車場 <b>49台</b> （内、障害者用9台）
駐車場③	山崎本社みんなのあいプラザ駐車場 <b>30台</b> （内、8台は社会福祉協議会等が専用利用）



# 資料1 調査対象公園の状況④（整備当初のゾーニング・導線）



## ゾーニング

ゾーニング計画は、公園的利用と防災的利用の両面から検討を行い、土地利用の特性を活かして、3つのゾーンを配置している。

### ● エントランスゾーン

都市計画道路に接し、本公園の中心的な入口部にあたる区域で、被災時にスムーズな誘導が行えるゾーン

### ● シンボルゾーン

本公園のシンボルとなる区域で、噴水等により潤いある憩いの場とする。被災時は、避難者への物資等を提供するゾーン

### ● ファミリーゾーン

本公園において、市民の多様なレクリエーション活動に対応する区域とする。被災時は、避難者の一時的な避難場所となるゾーン

## 導線

被災時における避難者の円滑な動線や緊急車両の導線確保を十分に配慮するとともに、日常利用や管理面にも配慮する。

### （1）被災時における導線計画

- ①避難者の殺到に備え、十分な幅員を確保する。
- ②避難場所までのスムーズな誘導に配慮した導線とする。
- ③負傷者や弱者の避難に備え、バリアフリー導線とする。
- ④物資等の搬入、搬出が容易に行える車両導線と幅員を確保する。

### （2）日常利用における導線計画

- ①各施設間のつながりが円滑に行える導線を確保する。
- ②日常利用（被災時にも配慮）においても視覚的に楽しめるものとする。
- ③ジョギングやリハビリ、散策など健康増進利用が可能なものとする。

### （3）管理面における動線計画

- ①管理車両、緊急車両の乗り入れが可能な道路線形、幅員を確保する。

## 修景施設

## 写真

### （１）流れ

井戸水を循環利用した親水空間。被災時の避難地となる芝生広場横に配置しており、生活水使用の場です。受水槽の外壁は被災時のメッセージボードとして利用出来ます。（現在せせらぎは循環していません。）



### （２）噴水、池、水のオブジェ

公園のシンボルとして配置し、水のオブジェは車椅子でも水に触れられる形態です。井戸水を活用し、被災時は生活水使用の場になります。



### （３）ユニバーサル花壇 ★

山崎本社みんなのあいプラザに接して配置しており、車椅子でも花が楽しめる花壇です。現在福祉団体が花壇の維持管理をしています。



# 資料 1 調査対象公園の状況⑤（公園施設等）

## 休憩施設

### （１）モニュメント・パーゴラ

公園のシンボルとして、木の街である廿日市らしさを表現しています。被災時は物資置き場として活用を図ります。

### （２）パーゴラ

芝生広場や流れの日よけ場所として配置しており、被災時は仮設テントとして活用を図ります。

### （３）ユニバーサルシェルター

健康遊具や芝生広場利用者の休憩場所で車椅子での利用が可能なもので、被災時は仮設テントとして活用を図ります。

### （４）防災型ベンチ

ベンチの中に電気、給水設備ユニットや工具類、救急セット、担架などを組み込んだベンチを避難動線上に配置しています。

### （５）木デッキ

休憩やイベント時のステージとして、木製のデッキを中央広場に配置しています。被災時は避難場所、物資置き場として活用します。

## 写真





# 資料 1 調査対象公園の状況⑤（公園施設等）

## 遊戯施設

### （１）複合遊具

本市がけん玉で有名なことから、けん玉をイメージした複合遊具とし、被災時はテントスペースとして活用します。

### （２）幼児遊具

幼児を対象とした遊具で、被災時はテントスペースとして活用します。

### （３）健康遊具（介護予防）

山崎本社みんなのあいプラザからの利用者に配慮し、障害者や高齢者も利用可能な健康遊具を散策園路沿いに配置しています。



## 便益施設

### （１）案内板

公園施設及び防災施設の説明を行う案内板です。被災時は伝言板として活用を図ります。

### （２）水飲み

車椅子での利用が可能な形態としています。

### （３）時計塔（ソーラー時計）

読み易い盤面で、メロディでも時を知らせることができます。





# 資料 1 調査対象公園の状況⑤（公園施設等）

## 電気設備

### （１）ソーラー照明灯

入口部および便所部に配置しています。



### （２）非常時自家発電受取盤

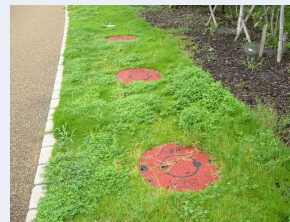
停電時に山崎本社みんなのあいプラザの自家発電設備より園内に電気を取り込みます。

## 給水設備

飲料水は上水設備とし、それ以外の便所の洗浄水、植物散水、池・流れの補給水、仮設便所の補給水に井水を活用しています。

## 下水設備

汚水は公共下水とし、断水時は井戸水を活用し、汚水系統上に仮設トイレ用の防災型桝を配置しています。



マンホールトイレ

# 資料 1 調査対象公園の状況⑤（公園施設等）

## 管理施設

### （１）耐震性貯水槽 ★

被災時の飲料水確保のために、被災人口算定より貯水量は100m<sup>3</sup>とし、入口の道路沿いに配置しています。



### （２）車止め

夜間の避難誘導に配慮して、ソーラーLEDを組み込んだものとしています。

## 建築

### （１）備蓄倉庫・便所棟 ★

被災時に備えての備蓄倉庫で、耐震性の高いRC造とし、屋根の意匠は木の葉をモチーフとして、軽やかな印象を与えるデザインとしました。また、管理倉庫や身障者用やベビーシートを備えたトイレを併設しています。



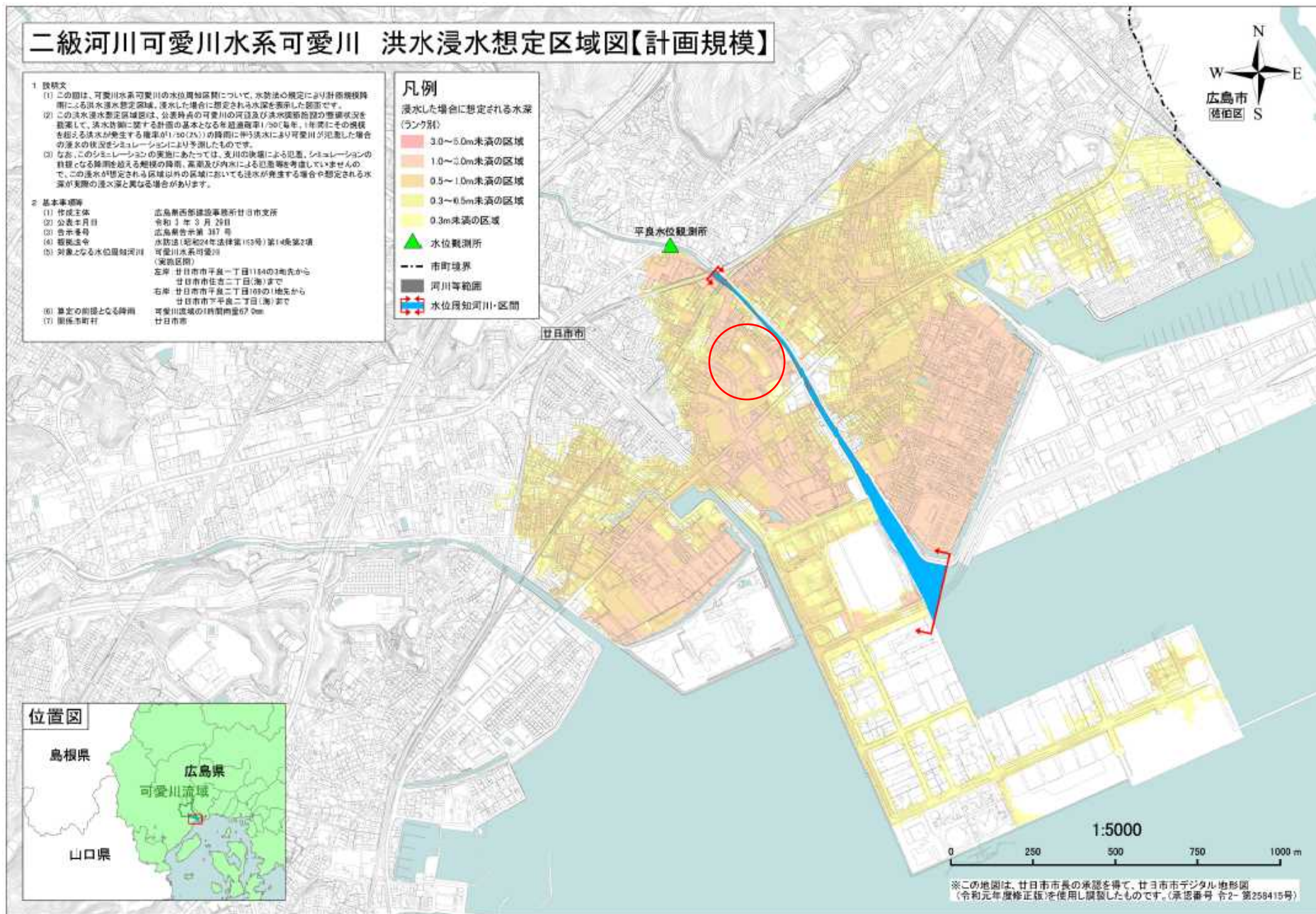
## その他

### （１）防火樹林帯

延焼防止が必要な芝生広場の北、東、南面に幅 10 m 以上の防火樹林帯を確保し、クロガネモチやサンゴジュなどの防火機能に優れた樹種を植栽しています。



## 資料 1 調査対象公園の状況⑥（浸水区域）



- 廿日市市第6次総合計画（平成28年3月）
- 廿日市市第6次総合計画後期基本計画
- 廿日市市地域防災計画（令和3年5月）
- 廿日市市地域強靱化計画（令和2年10月）
- 廿日市市緑のマスタープラン（平成30年3月）
- 拠点の形成による持続可能なまちづくり計画  
（立地的適正化計画）（平成31年3月）



